# Google「Deep Review」の概要と知財業務での活用ポイント

## Deep Reviewの基本性能と特徴

技術文書の矛盾を自動検出するAIエージェント

文書分割

外部照合

4段階で論理や数式の不整合を検証

誤り検出率

**89.7%**

単発LLMは55.2%

旧システムの実証にて、従来の単発応答を大幅に上回る精度を記録しました。



### 週2回まで無料（Gemini APIキーで拡張可能）

PDFやテキストに対応し、10〜20分で不整合や改善提案を出力します。

## 知財業務での活用判断と注意点

公開特許には即活用

未公開ドラフトは投入不可

### 他社特許の弱点探しに

他社特許の弱点探しには有用ですが、未公開の自社発明は流出リスクがあります。

### 文書は1年間保存・専用の秘密保持規約は未確認

オプトイン設定やAPIの契約種別によるデータ扱いの違いに注意が必要です。

### AIの指摘は仮説であり実務家による最終確認が必須

誤検出や約1割の見落としが存在するため、法的判断は人間が行います。

Gemini Notebook